

# J.S. BACH Messe in h-moll

国分寺チェンバークワイア  
創立 25 周年記念演奏会

J.S. バッハ

## 『ロ短調ミサ曲』

BWV. 232

カリグラフィー「ロ短調ミサ曲」 蘆野ゆり子

ソプラノ 駒井 ゆり子 *Yuriko Komai*  
ソプラノ 庄司 由美子 *Yumiko Syoji*  
アルト 北條 加奈 *Kana Hojo*  
テノール 片野 耕喜 *Koki Katano*  
バス 小笠原 美敬 *Yoshitaka Ogasawara*

合奏 オーケストラ・シンポジオン *Orchestra Symposion*

オルガン 菅 哲也 *Tetsuya Kan*

合唱 国分寺チェンバークワイア *Kokubunji Chamber Choir*

指揮 市瀬 寿子 *Hisako Ichise*

2016 年 11 月 27 日 (日)

開場 13:30 開演 14:00

小金井 宮地楽器ホール 大ホール (3階)

JR 中央線 武蔵小金井駅南口徒歩 1 分

全席自由

2,800 円

●チケット取扱い:

小金井 宮地楽器ホール 2 階チケットデスク

●ご予約・お問合せ:

国分寺チェンバークワイア

<http://kokubunjichamber.blog33.fc2.com/>

中重 ☎ 090-4934-0019

(当日券販売あり)



**市瀬 寿子 ●指揮** 国立音楽大学教育音楽学科卒業。岡本敏明、小山章三 両氏の薫陶を受け、在学中から合唱音楽に関心をよせる。1980年より95年まで 淡野弓子「Heinrich Schütz-Chor, Tokyo」のメンバーとして研鑽を積み、演奏活動に参加。1991年に 国分寺チェンバークワイアを結成。94年より、「バッハの四季」シリーズを開始。教会暦によるバッハの連続演奏を目指す。また立教大学新座キャンパス公開講座「市民のためのメサイア連続演奏」の合唱指導などで多くの合唱団と出会い、交流を持つ。日本合唱指揮者協会会員。



**駒井 ゆり子 ●ソプラノ** 東京音楽大学大学院修了。二期会オペラ研修所を優秀賞、奨励賞を得て修了。パリ・エコール・ノルマル音楽院コンサーティスト資格を声楽と室内楽で審査員満場一致及び称賛付きを得て取得、同音楽院を首席で修了。全日本学生音楽コンクール、長久手オペラ声楽コンクール、モーツァルトコンクール、東京音楽コンクール、ヴェローナ国際オペラコンクール、国際フランス声楽コンクール等で上位入賞を果たし、トゥールーズ国際フランス歌曲コンクールでは最優秀ピアノ声楽デュオ賞を受賞。的確なテクニックと類まれなる音楽性を持ち、言葉に対する鋭い感性と深い作品分析に裏打ちされた演奏においては定評がある。文化庁海外派遣研修員。桐朋学園大学講師。フォーレ協会会員。二期会会員。



**庄司 由美子 ●ソプラノ** 国立音楽大学声楽科卒業。東京室内歌劇場「フローベ」第2期修了。井上敦子、中島基晴、奥田智重子、田中誠、北村哲朗各氏に師事。日本歌曲、ドイツ歌曲のソロコンサートをはじめ、北村哲朗(Br.)エフゲニ・ザラフィアンツ(P.)両氏とのマラープログラムによるコンサートなどに出演。海外の著名な演奏家のマスタークラスなどにも参加し特にドイツ歌曲において研鑽を積み活動を続けている。また児童・女声・混声の合唱団指導の他、ベートーヴェン「第九」やオルフ「カルミナ・ブラーナ」などの合唱指導にも参加。近年は淡野弓子氏による講座に参加しハーモニーや声について深く学ぶ。また国分寺チェンバークワイアに所属し市瀬寿子氏の下で宗教曲の合唱及びソロに取り組んでいる。日本演奏連盟会員。



**北條 加奈 ●アルト** 東京芸術大学声楽科卒、同大学院修士課程を修了。演奏会ソリストとして、バッハ、ヘンデルをはじめとする宗教曲の他、演歌・ポップスのアレンジ曲など、ジャンルを問わない幅広い声楽レパートリーを持ち、日本各地の合唱団やオーケストラと共演。その柔軟な声から生まれる豊かな表現はいつでも高い評価を得ている。中学校在学中、合唱部に所属したことを機に声楽の勉強を始め、以後国内外の合唱コンクールに出場し、数々の入賞経験を経て、声楽とアンサンブル双方の研鑽を積み重ねる。その長い経験で培われた合唱・発声指導は非常に高く評価されており、ヴォイストレーナー・合唱指揮者として、児童合唱団からシニア層まで、年代を問わず数多くの合唱団体の指導にあたっている。著書に「合唱エクササイズ 表現編 HOJO METHOD」(カワイ出版)。NHK 東京児童合唱団ヴォイストレーナー・講師。



**片野 耕喜 ●テノール** 東京学芸大学、東京芸術大学大学院、ハンブルク音楽院、プレーメン芸術大学古楽科卒(ディプロム取得)。オラトリオの独唱を得意とし、なかでも福音書記者役ではシュツツ、バッハやテレマンなどの作品でドイツでも高い評価を受けている。さらにイギリス、フランス、イタリアなどの多くの都市で演奏。ドイツ歌曲の分野でもシューベルト「冬の旅」、「水車屋の娘」、シューマンの「詩人の恋」などを日独のリサイタルで歌い、好評を得ている。バッハ・コレギウム・ジャパンと共演した、バッハ「ヨハネ受難曲」(King)とカンタータ集(BIS)、ル・パルラモン・ミュージックとのブルース／カンタータ集(FranceHM)などの録音がある。山梨大学教育学部教授。



**小笠原 美穂 ●バス** 東京芸術大学大学院修了。故・小笠原克美、高橋大海、ノーマン・シエラー、ペーター・コーイの各氏に師事。平成14年度文化庁芸術家在外研修員としてドイツに留学。ライニツェ・カントライ、コレギウム・ヴォカール・ゲント、リッセルカール・コンソート、バッハ・コレギウム・ジャパン等の古楽アンサンブルに参加し、国内外で数多くの演奏会や録音を行う。ソリストならびに声楽アンサンブルのメンバーとして古楽を中心に精力的な演奏活動を展開し、音楽祭等における舞台作品の上演にも参加している。ドイツ歌曲やバロック音楽のプログラムによるリサイタルは各地で高い評価を得る。「ラ・フォンテヴェルデ」、「ベアータ・ムジカトキエンシス」、「ジョーバン・バロック・アンサンブル」各メンバー。



**菅 哲也 ●オルガン** 国立音楽大学器楽学科オルガン専攻を卒業。同大学院音楽研究科修士課程を修了後、ドイツ学術交流会(DAAD)給費留学生として渡独。ドイツ国立ケルン音楽大学を卒業。これまでに日本及びヨーロッパ各地で演奏、録音を行っている他、オーケストラ、合唱団との共演、通奏低音奏者としてバロックアンサンブルへの参加も多い。現在、国際基督教大学オルガニスト。同大学教養学部及び宗教音楽センター講師。国立音楽大学オルガン科講師。聖グレゴリオの家宗教音楽研究所講師。



## オーケストラ・シンポジオン(音楽監督 諸岡範澄) ●合奏

1995年創立。ブルージュ国際古楽コンクールをはじめとする、数多くの内外コンクール受賞者を含む優秀な音楽家たちをメンバーとするオーケストラ。作曲家達の活躍した時代の楽器、演奏法を用い、バロック、古典派からロマン派に至る、声楽を含む多様な管弦楽作品を数多く演奏している。CDでは「1770年代の二長調交響曲集」、「1780年代の外短調交響曲集:コジェルフ&モーツァルト」、「熱情のライブツィヘッドレスデン 1840's」、「めんどり&ジュピター」をALM RECORDSよりリリース、いずれも高い評価を得ている。



**国分寺チェンバークワイア ●合唱** 1991年創立。ルネサンス・バロック期の音楽を主なレパートリーとし、少人数で「命あふれるア・カペラの響き」を追求して研鑽を積んでいる。1996年、国分寺チェンバークワイアオーケストラと共にドイツ演奏旅行を敢行。ベルリン、ライプツィヒ等5都市にて演奏。2004年10月のイタリア演奏旅行では、ローマ、パルマの教会でのコンサートを通して地元合唱団と交流を持つ。2005年4月、紀尾井ホールにて創立15周年記念演奏会、また2012年1月、同じく紀尾井ホールにて創立20周年記念演奏会を開催、好評を博す。

- ソプラノ 石田芳子・小山田玲子・笠間美香・庄司由美子・生 美子・高橋明美・高橋純子・玉木千里・津吹陽子・富田桂子・富山順子・成井木綿子・羽田けい子・本多昌代・宮原三千世・本山奈緒子  
 アルト 入江早由美・柏木美紀子・金井 和枝・芝田多真美・菅本高代・立川政子・中重久子・細矢 恵・松風まさみ・森迫邦江・矢形純子・吉橋康子  
 テノール 雨宮史朗・伊藤雄志・大場智夫・亀井一男・佐々木恭之助・高萩則夫・田代雅・本多俊介・門司宏宏  
 バス 阿部利興・池田 彰・遠藤伸雄・久保田滋人・駒井義明・芝田潤・富山和照・中村誠一